

商学部の教育方針（2021年度生用）

広島修道大学商学部は、修道短期大学商科（1952年設立）を母体として1960年に4年制の広島商科大学商学部商業学科として設立されました。その後経営学科が設立され、商業学科は現在の商学科になりました。

その設立から広島経済界の要請を反映し、「地域社会の発展に貢献できる人材の養成」、「地域社会と連携した人づくり」、「地域社会に開かれた大学づくり」を理念として出発しましたが、それはすなわち商学部の理念でもあります。その理念のもとで商学部の教育目標は、「商学部は、商学及び経営学の理論的分野と実践的分野の教育研究を行い、地域社会及び国際社会に貢献できる専門的知識と高度の教養を備え、社会に生じる諸問題の解決能力を有する人材を養成することを目的とする」と決めました。

この目的を達成するために、商学、経営学に関連する科目を整備し、地域の企業、団体と連携した講義、実習科目を設置しています。

I. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

商学部は、学生ひとりひとりが「地球的視野を持って地域社会の発展に貢献できる人材」となることができるよう、以下の3点を学士課程教育において身につけるべき学士力として明示します。

1. 知識・技能

講義、ゼミナール、さらに自学自習により、読む・聴く・書く・話すことの反復をとおして、商学、経営学の知識を獲得・整理し、理解・分析・表現することができ、考え抜くことができるようになること。

2. 課題の発見と解決

修得した知識と技能をもって、自ら課題を発見し、課題の解決に取り組み、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力を持つようになること。

3. 主体性と協働・協創

商学、経営学に関する諸領域において、各人が主体性をもって、多様な人々と協働・協創して学び合う態度を養うこと。

II. 教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

商学部は、学生一人ひとりが円滑に大学での学修を開始し、学士課程をとおして深い学識を身につけ、「地球的視野を持って地域社会の発展に貢献できる人材」となることができるよう、以下の3点を教育課程の編成方針として明示します。

1. 基礎から発展へ

学士課程教育に必要な基礎的な知識や技能を身につけるために、初年次教育科目を置きます。高度な知識や技能を習得するために、商学部の主専攻科目を体系的に開設し、主体的な学修を促し情報化やグローバル化の進展にも対応した教育プログラムを設けます。

2. 視野の拡大

豊かな人間性を培うために全学共通教育科目を開設し、他の学部・学科・分野の主専攻科目を体系的に学ぶことのできる副専攻制度を設けます。

3. 経験の拡充

実社会・地域社会と連携し、主体性をもって多様な人々との協創を学ぶために、課題解決型実習科目・キャリア教育科目を設け、多様な価値観や異文化を理解するために国際教育科目及び留学制度の充実を図ります。

商学科の教育方針（2021年度生用）

広島修道大学商学部商学科では経営学科とともに、商学部の両輪として多くの企業人・実業家を輩出してきました。商学を学ぶということは、将来の経済生活を支える基盤そのものを身につけることを意味します。

本学科では商学についての知識・技能を幅広く学習するとともに、理論と実践的な知識および倫理観を兼ね備え、多様化する現代社会に自分の能力で対応する挑戦のスピリッツを有する人材を育成することを目指しています。

I. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

商学部商学科は、学生ひとりひとりが「地球的視野を持って地域社会の発展に貢献できる人材」となることができるよう、以下の3点を学士課程教育において身につけるべき学士力として明示します。

1. 知識・技能

講義、ゼミナール、さらに自学自習により、読む・聴く・書く・話すことの反復をとおして、商学、経営学の知識を獲得・整理し、理解・分析・表現することができ、考え抜くことができるようになること。

2. 課題の発見と解決

修得した知識と技能をもって、自ら課題を発見し、課題の解決に取り組み、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力を持つようになること。

3. 主体性と協働・協創

商学に関する諸領域において、各人が主体性をもって、多様な人々と協働・協創して学び合う態度を養うこと。

II. 教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

商学部商学科は、学生一人ひとりが円滑に大学での学修を開始し、学士課程をとおして深い学識を身につけ、「地球的視野を持って地域社会の発展に貢献できる人材」となることができるよう、以下の3点を教育課程の編成方針として明示します。

1. 基礎から発展へ

学士課程教育に必要な基礎的な知識や技能を身につけるために、初年次教育科目を置きます。高度な知識や技能を習得するために、商学科の主専攻科目を体系的に開設し、主体的な学修を促し情報化やグローバル化の進展にも対応した教育プログラムを設けます。

2. 視野の拡大

豊かな人間性を培うために全学共通教育科目を開設し、他の学部・学科・分野の主専攻科目を体系的に学ぶことのできる副専攻制度を設けます。

3. 経験の拡充

実社会・地域社会と連携し、主体性をもって多様な人々との協創を学ぶために、課題解決型実習科目・キャリア教育科目を設け、多様な価値観や異文化を理解するために国際教育科目及び留学制度の充実を図ります。

経営学科の教育方針（2021年度生用）

広島修道大学商学部経営学科では商学科とともに、商学部の両輪として多くの企業人・実業家を輩出してきました。経営学を学ぶということは、社会に役立つ即戦力としての人材を育てることを意味します。

すなわち、本学科では経営学についての知識を幅広く学習するとともに、社会における様々な問題について深く考え、他者と協力して問題解決に取り組み、倫理観とコミュニケーション能力を兼ね備えながら積極的に行動できる人材を育成します。

I. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

商学部経営学科は、学生ひとりひとりが「地球的視野を持って地域社会の発展に貢献できる人材」となることができるよう、以下の3点を学士課程教育において身につけるべき学士力として明示します。

1. 知識・技能

講義、ゼミナール、さらに自学自習により、読む・聴く・書く・話すことの反復をとおして、経営学の知識を獲得・整理し、理解・分析・表現することができ、考え抜くことができるようになること。

2. 課題の発見と解決

修得した知識と技能をもって、自ら課題を発見し、課題の解決に取り組み、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力を持つようになること。

3. 主体性と協働・協創

経営学に関する諸領域において、各人が主体性をもって、多様な人々と協働・協創して学び合う態度を養うこと。

II. 教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

商学部経営学科は、学生一人ひとりが円滑に大学での学修を開始し、学士課程をとおして深い学識を身につけ、「地球的視野を持って地域社会の発展に貢献できる人材」となることができるよう、以下の3点を教育課程の編成方針として明示します。

1. 基礎から発展へ

学士課程教育に必要な基礎的な知識や技能を身につけるために、初年次教育科目を置きます。高度な知識や技能を習得するために、経営学科の主専攻科目を体系的に開設し、主体的な学修を促し情報化やグローバル化の進展にも対応した教育プログラムを設けます。

2. 視野の拡大

豊かな人間性を培うために全学共通教育科目を開設し、他の学部・学科・分野の主専攻科目を体系的に学ぶことのできる副専攻制度を設けます。

3. 経験の拡充

実社会・地域社会と連携し、主体性をもって多様な人々との協創を学ぶために、課題解決型実習科目・キャリア教育科目を設け、多様な価値観や異文化を理解するために国際教育科目及び留学制度の充実を図ります。